



TITLE:

臨時總會とプラネタリウム見學の記(3月7日): 今春の臨時の總會は研究論文發表

AUTHOR(S):

CITATION:

臨時總會とプラネタリウム見學の記(3月7日): 今春の臨時の總會は研究論文發表. 天界 1937, 17(192): 246-248

ISSUE DATE:

1937-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167437>

RIGHT:

臨時總會とプラネタリウム見學の記 (3月7日)

今春の臨時の總會は研究論文發表

待望のプラネタリウム見學、懇親晚餐會と3大プログラムをもつて、去る3月7日13時より大阪に於て華々しく開會。招待者の外、京阪神120名の會員に遠く静岡、愛知、福井、鳥取、四國、九州の各方面より參集の會員を迎へ、總勢137名の豫想外の大多數の出席を見る盛況である。

總會 第1會場 しろごう76階野田屋

13時、稻葉理學士開會を宣せられ、次いで開催地大阪市の1昨年の強化以來、旺盛なる活動を見せてゐる大阪支部を代表し支部長宮森作造氏が、遠來多數の會員を迎へ、こゝに盛大な總會を開く事を得た喜びと歡迎の辭を述べられる。次いで議事に入り、會長に山本一清博士を推戴及び會則中役員の名稱を理事と改正する點異議なく通過。次に山本會長よりプラネタリウムの完成、倉敷天文臺の擴張、生駒山天文臺、生駒山天文博物館、瀬戸黃道光觀測所等の創立事業の進捗に就き發表あり、愈々本論たる論文發表に移り、次の通り貴重な研究の發表がなされた。

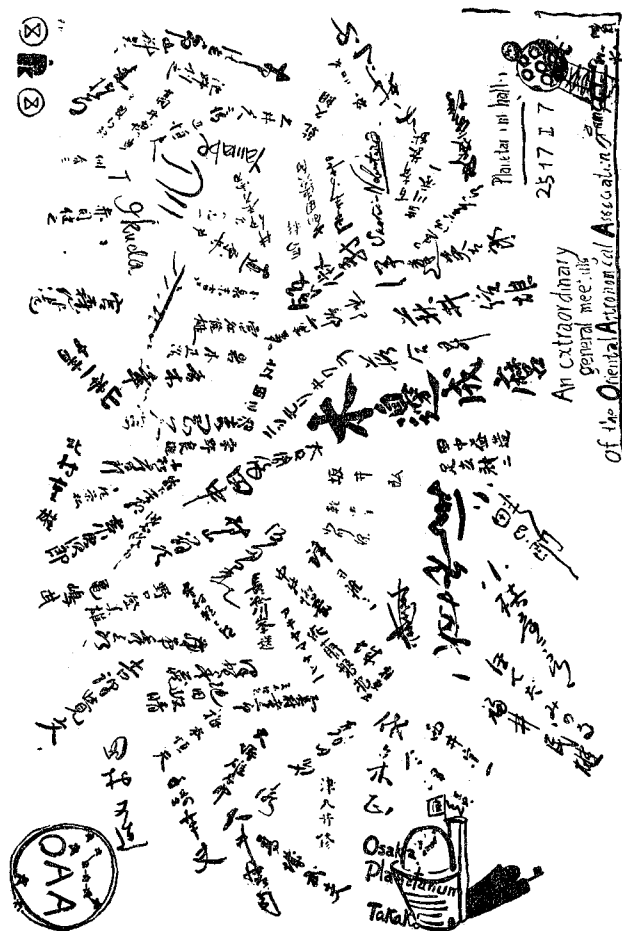
彗星の統計的研究	山本一清博士
ペル1の日食觀測計畫	柴田淑次理學士
本邦に於ける黃道光觀測(英文)	荒木健兒氏
白鳥SS星型變光星に就て	木邊成麿氏

終つて、茶話會に入り遠來の會員諸氏より挨拶あり、15時30分一旦閉會。一同數町の距離にある電氣科學館に移る。

見學 第2會場 電氣科學館6階 天象館

16時、プラネタリウムを中央に、圓形に並べられた席に全員が揃ふ。小島科學館長を名譽會員に推薦する旨の動議あり滿場一致にて決定。小島館長より電氣科學館及びプラネタリウム設置までの経緯及び將來への希望、更に名譽會員としての挨拶がある。愈々山本博士及び高木公三郎氏は操縦の位置に着かれ、山本博士より本日はプラネタリウムの機能を非公開的な方法で運轉する旨の言葉あり、愈々映寫が始められる。ドーム内を照らす四周の間接照

明が消されると投影器から放つ淡い光のみとなる。薄明が次第に薄れると一等星が輝き出す。低空に残る最後の微光が消へると頭上には燦然たる冬の星座が展開されてゐる。オリオンが掛り、プレヤデスが輝き、銀河が西南に流



れる。期せずして嵐の様な拍手が起る。ゆるやかな日週運動が始まる。天空に現れたものは太陽と、盈虚を見せる月、赤い火星、縞のある木星、輪のある土星、速い水星と金星の順行、停留、逆行のループを描く遊星運動、変光星あり、彗星現れ、流星飛び、かくて幽遠な天空旅行は約1時間で終り、後

は機械の運轉の細部に涉る説明が行なはれ、一同記念撮影を終り散會する。

懇親晚餐會 第3會場 〔そごう7階 野田屋〕

懇親晚餐會は有志50餘名の出席により、18時30分より開會。津田雅之氏座長となり、席の一端より順次自己紹介とプラネタリウム參觀の感想批評。希望等が述べられ、春宵を惜しみつい、和氣靄々裡に閉會へ。(宇野生)

〔附記〕 當日寫眞代銀河會費を御拂ひになり、現品未到着の方が在りますれば、大阪支部宛御照會被下し。當日受附多忙の爲不行届の點は御許し下さい。〔受附子〕

匿名氏異聞

天界誌上に匿名氏が盛んに活躍せられるが、私の見た推量はざつと次の通りですが、適中の向は又別名が出現する事でせう。

淡翠山人 濃厚寡黙の歌人であるが色がやゝ黒い。終日、喪服の正装。毎月の星座案内に活躍せられた。フランス語に堪能にして外交家。趣味は讚美歌の獨唱。

葵星 時計と電氣に對する趣味と經驗深し。多年協會のため盡瘁せらる。將來も天文知識普及に努力せられる由。案外のハミカミ屋。趣味は謠曲、洋樂。

京星人 協會理事。敏腕の小肚銀行家。趣味はスポーツ、ハイキング等々。特に流星觀測にご熱心。

月斗生、**老人星** 俳人の名前を盗むとは怪しからぬ。馬鹿力が有る所を見ると、未だ老人でもあるまい。〔花山だより〕に盛んに脱線中。童顔にして一見、とても可愛らしいが、口八丁の能辯家、豫備少尉、趣味は、調子外れの獨唱、漫談。

花山子、H. Σ. ゲリリー・クーパー型のノツポ。講演中ポケットに手を入れる癖がある。特に絶妙の隠し藝を有す。趣味はホッケー、圍碁、將棋、ピアノは素人ばなれがして居る。聞く所によると大船仕込みの新進撮影技師、近く柵林へ派遣される由。

星見山人 全身毛だらけの大男、髭を剃れば忽ち濃厚篤實の紳士となる。豫備役少尉、趣味は圍碁、弓、謠曲等。得意の藝は〔汽車ボツボツ〕、ギターの名手。

A, η 同名異人とは判別し難いが、何れ天文の各方面に通曉した大家らしい。趣味は1に天文、2に天文、3に甘黨。

T. O. 生 血液型は象型。阪大物理教室の少壯學徒。本會の古參會員。

林生 カメラ日記の著者。好男子。頗るの能筆家。心臓の強い割合に娘を恐がる、露出乾板は先づ現像液に入れて下さい。趣味は都々逸、藝術寫眞。

小番城生、**佐登兒** 協會事務に盡力せらる。ワイシャツを出した燕尾服姿で悠々漫步する超然居士。文學に趣味深し。(一會員寄)